

西臼杵地域の普及活動（普及活動月報）

令和7年9月 西臼杵支庁
(西臼杵農業改良普及センター)

目次

- I 管内農業・農村の出来事や新たな動き
 - 1 【管内】9月期子牛セリ市開催
- II 主な普及指導活動等の取組み
 - 1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動
 - [総合：集落営農等サポート体制、担い手の確保、規模拡大、6次産業化 等]
 - [専門：ミニトマト、キンカン、ラナンキュラス、りんどう]
 - 1 【日之影町】（株）ひのかげアグリファームとの意見交換
 - 2 【五ヶ瀬町】就農相談会等の開催
 - 3 【高千穂町】新規就農者に対する支援
 - 4 【高千穂町】高千穂ファーマーズスクール検討会
 - 5 【管内】西臼杵型放牧ネットワーク会視察研修
 - 6 【管内】ミニトマト中間検討会
 - 7 【高千穂町・日之影町】きんかん現地検討会の開催
 - 8 【管内】ラナンキュラス展示ほ設置
 - 9 【管内】高千穂地区営農振興協議会野菜部会（第6回）の開催
 - 10 【管内】高千穂地区営農振興協議会果樹部会（第6回）の開催
- 2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動(一般活動)
 - 1 【管内】水稻の成熟期調査を実施
 - 2 【高千穂町】高千穂小学校でお茶の出前授業を実施
 - 3 【管内】ホオズキ部会実績検討会の開催

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

1 【管内】9月期子牛セリ市開催

20日、21日の2日間、J A高千穂地区家畜市場において、9月期子牛セリ市開催されました。

出場頭数は、2日間合計 471頭（雌 221頭、去勢 250頭）で、平均売却価格は雌 652,168円、去勢 721,886円となりました。

セリ前研修会では、普及センターからは、「WCS用稲の収穫・調製」と「農作業安全」について説明し、農業機械関連の事故だけでなく、飼料タンクの適正管理についても呼びかけました。

研修終了後は、畜産相談ブースを設け、研修内容の質問やその他の相談対応を行いました。



【セリ会場での研修会】

II 主な普及指導活動等の取組み

1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動

[総合：集落営農等サポート体制、担い手の確保、規模拡大、6次産業化 等]

[専門：ミニトマト、キンカン、ラナンキュラス、りんどう]

1 【日之影町】（株）ひのかげアグリファームとの意見交換

26日、（株）ひのかげアグリファームにおいて、法人役員2名と普及センター職員との意見交換を行いました。

今回は、農業未経験者や外国人労働者などの雇用人材向けの農作業マニュアル（トマト、きゅうり）の内容について検討したのちに、栽培品目（水稻、大玉トマト、食用かんしょ）の品質向上や収量確保について協議しました。

今後も法人の経営安定に向け定期的に意見交換を行っていきます。



【（株）ひのかげアグリファームとの意見交換】

2 【五ヶ瀬町】就農相談会等の開催

9日、普及センターにおいて、五ヶ瀬町の就農希望者1名（いちご）に対し、経営収支計画の作成支援を行いました。10日には、五ヶ瀬町役場において、五ヶ瀬町、西臼杵支庁、J Aみやざき高千穂地区本部の担当者と共に就農相談会を行い、農地の取得状況やハウスの整備計画、出荷先の確認を行いました。

今後も引き続き、関係機関と連携し支援していきます。

3 【高千穂町】新規就農者に対する支援

11日、就農1年目の新規就農者1名（くり、山椒）に対し、高千穂町とともに経営収支計画の作成支援を行い、16日には、町担当者とともに山椒の契約取引に立ち会いました。

19日は、4月に就農した新規就農者1名（ラナンキュラス、露地ピーマン）の栽培状況を確認しました。

今後も新規就農者の経営安定に向けて、定期的に巡回し支援していきます。



【新規就農者の栽培支援】

4 【高千穂町】高千穂ファーマーズスクール検討会

24日、普及センターにおいて、高千穂町、J Aみやざき高千穂地区本部の関係者6名が出席し、ファーマーズスクールの運営等に関する検討を行いました。

次年度に向けた複合的品目を組み合わせた年間計画に関する協議や、研修修了生の就農状況について共有しました。

今後も、関係機関が一体となって、研修をサポートしていきます。



【高千穂ファーマーズスクール検討会】

5 【管内】西臼杵型放牧ネットワーク会視察研修

29日、西臼杵型放牧ネットワーク会主催の視察研修が開催され、会員7名と関係者10名が参加し、放牧に取り組む南那珂地域放牧研究会を訪問しました。

日南市と串間市の放牧場を視察し、各生産者から放牧地の概要や管理状況について説明がありました。草地管理や放牧技術に関する活発な意見交換が行われ、参加した会員は、「知識の幅が広がった。生産者間の交流が出来た。」等の意見もあり、大変有意義な研修となりました。

今後も、関係者と連携し、西臼杵地域の放牧技術の向上に取り組んでいきます。



【南那珂地区の放牧場を視察】

6 【管内】ミニトマト中間検討会

16日、ミニトマト生産者25名と関係者が参集し、五ヶ瀬町桑野内のミニトマトほ場3カ所の現地巡回と中間検討会が行われました。現地巡回では、各生産者の栽培状況を確認し、その後、五ヶ瀬町のJ A戸ノロ野菜集出荷場に移動し今年の作柄について中間検討が行われました。普及センターからは、管内のトマトキバガの発生状況や防除対策等について説明しました。

ミニトマトは、今月から摘心を行い、出荷も大詰めを迎えるため、より多く出荷ができるよう支援していきます。



【ミニトマト現地検討】

7 【高千穂町・日之影町】きんかん現地検討会の開催

16日、高千穂町において、きんかん生産者10名と関係者が参集し、現地検討会を行いました。

3戸のきんかん園地を巡回し、各生産者からは、栽培状況や効率的かつ品質向上をめざした取組について説明がありました。

そのほか、摘果や植物成長調整剤の利用や病虫害発生状況について、意見交換を行いました。

今後もきんかんの生産振興のため、関係者と連携し支援していきます。



【きんかん園地での意見交換】

8 【管内】ラナンキュラス展示ほ設置

17日、J Aの野菜集出荷場において、ラナンキュラスの大苗育苗の展示ほを設置しました。

この技術は、球根の冷蔵期間中にLED照明を活用し、通常よりも苗を大きく育てることで、定植初期の高温障害に負けない生育が期待されます。

今後、定植後の生育を継続して調査し、ラナンキュラスの高品質化を目指します。



【ポットでの育苗様子】

9 【管内】高千穂地区営農振興協議会野菜部会（第6回）の開催

17日、普及センターにおいて、標記野菜部会を開催しました。

会議では、令和7年産の各品目の生育状況及び出荷状況の共有や、野菜共進会の推薦候補者について検討しました。普及センターからは、トマトキバガの誘殺状況や展示ほの追試験結果の報告を行いました。また、11月に開催予定の事業承継研修会について、生産者に広く呼びかけるため協力依頼を行いました。

夏秋野菜も終盤に入り、草勢の低下や病虫害の発生が見られるため、関係機関と連携しながら支援していきます。



【野菜技術員会】

10 【管内】高千穂地区営農振興協議会果樹部会（第6回）の開催

17日、普及センターにおいて、標記果樹部会を開催し、各品目の情報共有を行いました。

今年は、台風の影響が少なく、くりやゆずは順調に出荷され、また、醸造用ぶどうも収穫期終盤を迎え、順調に出荷が進んでいます。

来月には果樹部会での視察研修を予定しており、有意義な研修会になるよう準備を進めています。



【果樹技術員会】

2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動（一般活動）

1 【管内】 水稻の成熟期調査を実施

8日、営農振興協議会作物部会の関係者が参集し、標記調査を行いました。水稻の展示ほ場は、各町（高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町）に2カ所設置しており、穂数や病虫害発生状況等について調査を行いました。18日は、高千穂町に設置した水稻直播き実証展示ほ場の成熟期調査を行いました。

桿長は平年よりもやや長い傾向にあり、穂数は平年よりやや多い結果となりました。病虫害の発生は、紋枯病が一部で発生していましたが、カメムシ類の発生は少ない状況でした。また、登熟期の8月から9月にかけて高温で推移したことから、品質への影響が懸念されています。

今後、収量・品質調査により影響の確認を行うとともに、直播き栽培と移植栽培の収量を比較し、部会で共有していきます。



【水稻の成熟期調査】

2 【高千穂町】 高千穂小学校でお茶の出前授業を実施

11日、高千穂小学校3年生を対象に、お茶に関する出前授業を実施しました。普及センターの茶担当者が講師を務め、西臼杵地域が釜炒り茶の主要産地であること、さらには同一の茶葉から紅茶や烏龍茶が製造されることについて解説しました。児童の多くが、地元の西臼杵地域が釜炒り茶の主産地であるという認識が薄かったことから、今回の授業は、地域農産物の価値を再認識させる貴重な機会となりました。

また、授業の後半では、釜炒り茶、紅茶、烏龍茶の試飲体験を実施し、児童たちは急須で淹れるお茶の過程に強い関心を示し、それぞれの香りや味わいの違いを五感で楽しんでいました。



【お茶の出前授業】

3 【管内】 ホオズキ部会実績検討会の開催

25日、普及センターにおいて、生産者7名、関係機関6名が参加し、標記実績検討会が開催されました。検討会では、令和7年産の生産及び販売結果の報告があり、今年のホオズキは、定植初期の低温や夏場の高温の影響等を受け、計画数量を下回る実績でした。

報告後の意見交換では、集荷計画の見直しについて、JAから提案があり、来作に向けて今後検討を重ねていくこととなりました。普及センターからは、今作の振り返りとアンケートを実施しました。

今後、生産者のアンケート結果を取りまとめ、来作の指導に繋げていきます。



【ホオズキ部会実績検討会】